

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		障害者福祉計画策定事業						予算事業名		障害者福祉計画策定事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	障害者基本法, 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律					
				03	01	03	6001	経常経費							
総合計画体系		1ともに支えあい, 安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業					
		1-5自分らしく暮らせる障害者福祉の充実(障害者(児)福祉)													
		①障害者(児)福祉の充実						担当課係等		社会福祉課					
その他						障害福祉係									
事業期間		新規 (令和元年度～令和 2年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
障害のある方が, 住み慣れた地域で安心して生涯を過ごせる地域社会の実現を目指す。								令和2年度に第2次結城市障害者プランの計画期間が終了するため次期計画を策定する。市町村障害者計画及び障害福祉計画は障害者総合支援法に, 障害児福祉計画は児童福祉法に策定することを定められている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
障害のある方が, 住み慣れた地域で安心して生涯を過ごせる地域社会の実現に向けて適切な障害福祉サービス提供体制を確保するために, 障害者計画と障害福祉計画, 障害児福祉計画を一体化した第3期結城市障害者プランを策定する。 1. 現状把握・・・アンケート調査(障害のある方, 企業, 市民) 2. 課題分析・・・調査分析結果から課題を抽出 3. 計画策定・・・結城市地域自立支援協議会 庁内ワーキング委員								市民及び障害のある人							
【令和 2年度 事業内容】								【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】			
○プラン策定コンサル業者委託 ○策定に向けたアンケートの実施 (1)障害手帳所持者 2500人 (2)障害者雇用企業 200社 (3)市民 1000人								○第3次障害者プランの策定 (1)障害者計画(第3期) (2)障害福祉計画(第6期) (3)障害児福祉計画(第2期)							
■事業費															
				H30年度		R01年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	0	0								
歳入計(千円)				0		0									
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)									
歳出計(千円)(A)				0		0									
伸び率(%)															
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ														

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	アンケート実施	%	目標	56.00	60.00	0.00
	手帳所持者，障害者雇用事業所，市民		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	地域自立支援協議会（計画策定委員会）		目標	0.00	3.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	庁内ワーキング会議		目標	0.00	0.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	法に規定された事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	コンサル業者に策定を委託する手法は一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	策定を業者に委託することは事務効率を高めるには必須である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	障害のある人もない人も 互いに人格と個性を尊重し支えあえるまちの実現を目指している。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
策定後は，広報紙やホームページ等に掲載し障害福祉について広く周知するとともに，障害福祉への理解・意識啓発に努め，計画に基づき障害福祉施策事業の進捗を管理し障害者等へのサービス提供体制の確保に努めていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 関係法令に規定されたものである，障害福祉施策の推進・充実に不可欠である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	